リーフレットダイジェスト版

令和6年度、2024年度、大阪府豊能地区、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町、公立学校教員募集リーフレット

これは大阪府豊能地区公立学校教員の採用選考テストの実施にあたり、受験を希望する人に、参考としていただくために作成したリーフレットを抜粋したものです。

**1、大阪府豊能地区とは**

大阪府の北西に位置する、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の、3市2町を豊能地区と呼んでいます。大阪国際空港やJR新大阪駅に近接する成熟した都市部と、季節ごとにさまざまな表情を見せる魅力的な自然環境を併せ持った地区です。豊能地区は全国で唯一、市町共同で教員採用選考を実施しており、毎年各地から、ここ豊能地区で先生になることをめざす、多くのかたに志願いただいております。

**2、豊能地区3市2町の特色ある教育**

豊中市

ホームページ、https://www.city.toyonaka.osaka.jp/

学校数、小学校38校、中学校16校、義務教育学校1校

みらい創造都市とよなか、明日がもっと楽しみなまち

庄内地域に、豊中市初の義務教育学校、2校が開校します。

つながるちから、まなぶちから、つくるちからを基本として、やり抜くことで世界にはばたいていく子どもをはぐくみます。令和5年、2023年4月、いよいよ庄内さくら学園が開校します。また、令和8年、2026年に仮称、みなみこうが開校予定です。

その1,教職員の働きかた改革を推進

令和3年度、2021年度に、スクールサポートスタッフを市立学校全校に配置、勤務時間外の留守番電話対応、携帯電話の配備、学校行事の精選、定時退勤びの設定、学校閉庁びの導入等の取り組みを行い、働きやすい職場環境づくりに努めています。

その2,ICTを活用した、学びの推進

ギガスクール構想を推進するため、児童生徒用一人一台タブレットに加え、教員用タブレットの整備を進めるとともに、ICT支援員を市立学校全校に配置しています。

その3,マチカネ先生塾、及び教員サポートシステム

教員をめざす学生には、マチカネ先生塾で、経験の浅い教員は、経験豊富な教職員育成支援指導員が、授業りょくのサポートをおこなっています。

その4,大学との連携、サウンドスクール事業

大阪音楽大学との連携により、音楽が溢れる学校づくりをすすめ、子どもたちが生きた本物の音楽にふれる教育を推進しています。

その5,た文化共生

帰国、とにちや外国にルーツを持つ児童、生徒に対する様々な学習支援や居場所づくり等、支援施策に取り組むとともに、互いに認め合い、尊重し合い、共に生きるた文化共生の視点での学びを進めています。また、ユネスコスクール参加校等は国内外の学校との協働授業に取り組んでいます。

池田市

ホームページ、https://www.city.ikeda.osaka.jp/

学校数、小学校9校、中学校4校、義務教育学校1校

教育で人々がつながるまち、池田

年齢、校種を越えて、つながる

その1,小中一貫教育の推進

中学校区をまるまる学園と呼称し、幼稚園などの就学前から義務教育9年間を見通した、小中一貫教育を推進しています。校種を越えた、異学年交流も盛んで、児童生徒はもちろん、校種の違う教員同士もつながることができます。また、施設一体型の義務教育学校、ほそごう学園では、1年生から9年生が学校生活を共にしています。

その2,ICTの活用

全小学校、中学校、義務教育学校の各教室に電子黒板を整備し、児童生徒一人一台タブレット端末を導入。教員にもタブレット端末を貸与しており、授業や校務での活用方法の研究も日々、行われています。

その3,外国語教育の推進

小学校、義務教育学校に英語リーダー教員を配置し、1年生から6年生までの系統的な英語の指導を実践しています。また、教員を対象に、オーストラリアにある姉妹都市ローンセストン市への語学研修を実施し、現地の教育事情を学ぶとともに、現地校で指導者として授業を体験しています。

その4,支援教育体制の充実

各学園に支援教育チーフコーディネーターを配置。また、市立幼稚園に、市独自のつうきゅう指導教室を開設し、個に応じた指導を進めています。

学校の枠を越え、地域とつながる

その5,地域社会との連携

学校、家庭、地域が協働し、子どもたちがいきいき活動できる、教育コミュニティづくりを推進しています。また、公設民営の塾、ふくまるはばたき塾では、子どもたちの家庭学習や自習のサポートをおこなっています。

その6,ふくまるきょうし塾で人材の育成

池田の教員を目指すかたに向けて、ふくまるきょうし塾をかいじゅくし、現場実習とセミナーの二本ばしらで、教員としての資質、能力を育成しています。

箕面市

ホームページ、https://www.city.minoh.lg.jp/index.html

学校数、小学校12校、中学校6校、小中一貫校2校

子どもたちの豊かな学力をはぐくむ、最新の教育環境

その1,情報教育の推進

ICTを活用した授業、保護者との連絡

箕面市では、全児童生徒に配備された1人1台のタブレット端末をつかい、一人ひとりの課題に応じたドリルに取り組むなどして、個別最適化された学習を進めています。また、学習支援ソフト、トモリンクスを活用し、オンライン上でのプリント配布や回収を行うことが可能です。デジタル連絡帳を活用することで、児童生徒端末のみならず保護者のスマートフォンにも反映され、正確に迅速に連絡事項を伝えることができ、教員と保護者の負担を軽減しています。

その2,教員を孤立させない学校組織体制

様々な教育課題に対して、学校が組織として状況に応じた適切な対応を取っていく必要があります。指導りょくのある教員が、生徒指導や保護者対応、教材研究などに専従できるよう、市独自の教員、授業支援員を配置しています。

その3,箕面の授業の基本で、指導のスタイルを確立

箕面版、授業の手引きを活用することで、すべての先生が子ども主体の課題解決型授業を展開しています。

その4,英語教育の推進

箕面市内の全小学校、中学校の全学年で、英語の学習を毎日実施しています。さらに、各校でネイティブ、英語指導助手とのティームティーチングを実施し、学校の授業だけで、高い英語りょくを身につけることができます。箕面から世界へ活躍できる、子どもたちを育てています。

その5,ぴあカレッジで教員養成

箕面市の教員をこころざす学生、および講師のかたを対象に、セミナーを実施しています。ICT教育、授業づくり、生徒指導、支援教育、人権教育など、様々な教育内容について学び、子どもたちの豊かな人生をきりひらくために必要な、教員としての資質、能力をはぐくんでいます。

豊能町

ホームページ、https://www.town.toyono.osaka.jp/

学校数、小学校4校、中学校2校、うち小中一貫教育校1校

豊かな自然と豊かな人材をいかし、豊かな子どもを育てる

めざす子ども像、豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども

その1,地域とともにある学校

令和8年4月、東西それぞれに義務教育学校、2校を設立し、新しい学びの段階、4，3，2制を導入していきます。先行して、令和4年4月、東地区に施設分離型の小中一貫教育校、ひがしのせ小中学校を開校し、前期学部、1年生から4年生が小学校校舎で、そして中期、後期学部、5年生から9年生が中学校校舎で学校生活を送っています。

その2,ほよう小中一貫教育の推進

0さいから15さいまでの15年間の、学びと育ちをつなぐ一貫した教育を推進し、確かな学びと豊かな心の育成、グローカル人材の育成をめざします。ちなみに、グローカル人材とはグローバル、世界と、ローカル、地域、を合わせた言葉で、どちらの視点も持てる豊かな人材のことを意味します。

その3,とよの未来科の創設

地域資源を最大限活用した、豊能町だからこそ学べる、体験的、探究的な学習を就学前から行います。とよのの宝物について学び、グローバルな視点で豊能町の未来のために、自分たちでできることを考える学習をおこなっていきます。

その4,使える英語の充実

就学前から、段階的に英語に慣れ親しませる体験的な活動を充実させ、使える英語をめざします。

能勢町

ホームページ、https://www.town.nose.osaka.jp/

学校数、義務教育学校1校

自分がすき、能勢がすき、仲間と共に、夢がいっぱい

その1,義務教育学校、発達段階に応じた柔軟な指導、支援

もっと地域とともに、もっとあたらしい学びへ、もっとチームに、をスローガンに令和4年4月、義務教育学校へ移行しました。9年間の学び、生活を効果的につないでいきます。

その2,子どもの安心サポート

福祉との連携、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等のた職種で構成するチーム学校、コミュニティスクールの取り組み、支援教育の充実、つうきゅう指導教室の開設など、学校、地域、行政で一人ひとりの子どもを大切にする教育を進めています。

その3,学力向上サポート

ICTの活用推進、英語教育の充実、5年生から9年生が対象となる英語4技能テストなど、また能勢町学力テスト、能勢分校との連携など、様々な機会を設け、確かな学力の定着をめざしています。

その4,働きやすい環境

豊かな自然に囲まれ、素直で元気な子どもたち、学校と協働する地域、保護者、あたたかい教職員集団、広々として充実した学校施設。小さなまちならではの充実した教育環境のもと、熱い夢を持つ子どもたちを育成しています。

その5,体力向上サポート

大学と連携し、授業支援、体力向上プログラムやイベントを実施し、元気でたくましい子どもの育成に努めています。

**3、豊能地区3市2町の紹介**

豊中市

高校野球発祥の地、とよなか

その1,中核市

早くから郊外住宅地として発展し、快適な住宅都市、質の高い教育文化都市として着実な歩みを重ねています。

その2,抜群の交通アクセスを誇るまち

大阪国際空港を通して、30を超える都市と結ばれている豊中市は、多くの人や物、情報が行き交う拠点のまちです。阪急電鉄、大阪モノレール、北大阪急行など、交通アクセスも抜群です。

その3,音楽が育ててくれるまち

音楽あふれるまち、とよなかを掲げ、市内外に豊中市の音楽を魅力ある地域資源として発信するため、とよなか音楽月間を設けています。

池田市

人、自然、文化の調和するまち、池田

ことはじめのまちとして、いにしえのおりひめ伝説にはじまり、阪急阪神東宝グループの創業者、こばやしいちぞうや、世界初のインスタントラーメンの開発者、あんどうももふく、ゆかりの地である池田市は、北部は緑豊かな植木のまち、中心部は閑静な住宅地、南部は高速道路や空港のある交通の要衝という、様々な顔を持ったまちです。大阪みどりのひゃくせんにも選ばれているさつきやま公園は、春は桜、秋は紅葉の名所で、夜景も素晴らしく、いながわの清流とともに私たちの心をいやします。公園内には、世界一ハートのある動物園、さつきやま動物園があり、ワラビーやアルパカ、珍しいウォンバットなどが飼育されています。特にウォンバットのワインは、2022年に33さいとなり、世界最高齢のウォンバットとしてギネス記録に登録され、メディアでも紹介されるほど有名です。

箕面市

地域の絆で守る、地域の安全

大阪で一番安全なまちをめざし、全ての通学路や公園に防犯カメラを設置。その数は、約2000台。設置前と比べて、子どもへの声かけなど不審しゃ情報やひったくりなどが半減し、効果は抜群。また、防犯カメラ設置費用の補助もしているので、自治会も地域にカメラを設置し、市民協働で防犯りょくを高めています。

豊能町

人とみどりが輝くまち、とよの

大阪府の北部にあり、ほくせつ連山に囲まれた自然豊かなまち、豊能町。棚田が一面に広がり、川のせせらぎ、かぜのおとが聞こえる、いなかの顔と、整備された住宅地が続き、自然と調和した、まちの顔をあわせ持ったまちです。自然や立地に恵まれた環境のほかに、歴史も特徴的。かつてこの地はキリスト教信仰が行われ、キリシタン大名として名高いふくしゃ、たかやまうこんの生誕地です。また、とよのみかげいしがとれる石のまちとして、史跡や石仏、せきとうなどが各地に残されています。

能勢町

人、地域、地球の健康を守り、縁をつなぐ、開かれたまち能勢

能勢町は、大阪府の北端に位置し、豊かな里山の自然と歴史に恵まれて生命をはぐくみ、独自の文化を持つまちとして発展してきました。里山の自然資源や人間関係などの資源を基軸として、人と人、里山とまちをつなぎ、自立的で魅力あふれるまちづくりを目指しています。とりわけ、エスディージーズの達成に向け、地域資源が循環する里山未来都市の実現を目指し、令和3年度に国からエスディージーズ未来都市に選定されました。ゼロカーボンタウンの実現や、里山資源の活用、健康長寿の取り組み、地域の魅力化に向けた人材の育成など、持続可能なまちづくりの実現に取り組んでいます。

**4、選考職種**

小学校教諭、中学校教諭、養護教諭

**5、出願期間**

令和5年、2023年4月3日、月曜、から4月28日、金曜、まで

詳しくは令和6年度、2024年度、大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト受験案内をご確認ください。

**6、出願先**

インターネットによる出願はホームページ、https://toyono-jinjikyo.com/、からお申し込みください。

**7、採用までの日程**

その1,願書の受け付け期間

インターネットによる電子申し込みは令和5年、2023年4月3日、月曜、午前10時から4月28日、金曜、午後5時まで。

郵送による申し込みを希望される場合は、事前にお問い合わせください。

その2,第1次選考

ひっとうテストは6月24日、土曜。

面接テストは7月1日、土曜、2日、日曜、8日、土曜、9日、日曜、15日、土曜のうち、いずれか1日を指定します。

第1次結果発表は8月4日、金曜の予定。

その3,第2次選考

ひっとうテストは8月19日、土曜。

実技テストは8月19日、土曜、21日、月曜、22日、火曜、26日、土曜、27日、日曜。

校種教科により異なります。

面接テストは8月23日、水曜から9月中旬のうち、いずれか1日を指定します。

第2次結果発表は10月6日、金曜の予定。

その4,合格者には、合格者説明会、採用前セミナー、健康診断、採用先市町決定通知、オリエンテーションを12月下旬から2月下旬にかけて実施予定。

令和6年、2024年4月採用、辞令交付式。

**8、問い合わせ先**

大阪府豊能地区教職員人事協議会

〒561-8501

豊中市、なかさくらづか、3丁目1番1号、豊中市役所内

電話番号、06-6858-3341

ホームページ、<https://toyono-jinjikyo.com/>